

# 令和5年度 社会福祉法人かいせい 事業報告書

## 1 運営の概況

当該年度は、事業の種別ごとに増減はあるものの、事業全体としては令和4年度並みの利用実績を維持し、収入は若干増加となった。また、焼き菓子やパンの製造販売など授産事業についても、イベントなど販売機会が増えたことなどから売り上げが増加傾向にある。

令和4年度と比較して支出が削減されたため、法人全体の収支は改善した。人件費については退職者の補充を最小限にしたことなどから支出が減少したが、年を追うごとに職員の採用が難しくなっており、今後、人件費は増加していくことが予想される。

この一年、法人内の事業所で大きな災害や感染拡大は発生しなかったが、昨今は全国的に災害が増えていることから、今後も引き続き防災対策や感染対策への取り組みを強化していく必要があると考えている。

また、障がいのある方々への虐待について全国的に報道が続いている。当法人では当該年度も職員への研修などを通して虐待防止に努めてきたが、今後も関係機関などと連携して権利擁護、虐待防止に取り組んでいく。

当該年度も各事業所がそれぞれ自立した事業運営に努力し、互いに課題を共有しながら、法人全体で連携・協力して運営の安定に取り組んだ。

## 2 利用状況

かいせい東川（オリーブを含む）においては退所者が5名おり、内訳は、精神の障がいがある方々が4名、知的に障がいがある方が1名であった。精神の障がいがある方々は、それぞれの体調や希望に応じて週に2～3日程度の利用が多かったため、一日あたりの平均利用者数は前年度比1.4名のマイナスにとどまった。ふっとは、長期で休んでいた利用者が通所再開したことなどから利用実績は一日当たり1.5名のプラスであった。グループホームは欠員のあった時期があり利用実績は一日当たり0.2名のマイナスであった。

事業所名	かいせい東川 (オリーブ含む)	ふっと	わふと(4住居)
事業種別	就労継続B型	生活介護	共同生活援助
定員数	40名	60名	26名
年度末利用契約者数 (前年度比)	49名 (-5名)	61名 (±0名)	26名 (+1名)
開所日数	243日	243日	366日
平均利用者数 (前年度比)	34.9名 (-1.4名)	44.1名 (+1.5名)	21.0名 (-0.2名)

### 3 職員配置状況

職員数については、1名の入職、2名の退職があり、総数は前年度末から1名減少した。すべての事業所において、職員数は国が定める職員配置基準を満たしている。

	施設長	サビ管	職業指導員	生活支援員	世話人	看護職員	他
かいせい東川	1(兼)	1(兼)	2	4			
Ｌ オリーブ	1(兼)	1	1	2			
ふっと	1(兼)	1		12		2	1(嘱託医)
わふと(4住居)	1(兼)	2(兼)		4	7		

年度末時点／総職員数 37 名（前年度比-1 名）

### 4 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定・見直し

- ・事業所全体でサービス管理責任者 5 名（うち 3 名は、管理者や支援員と兼務）

#### (2) 就労支援事業（授産事業）

- ・クッキー、パンの製造販売（かいせい東川）
- ・焼き菓子の製造販売、パンの店の運営（オリーブ）
- ・軽作業、自主製品製造販売（ふっと作業班。生活介護登録者のうち 1 2 名）

#### (3) 生活介護事業（ふっと）

- 創作活動、レクリエーションなど
- 感染予防のため、外出する活動は最小限とした。

#### (4) 居宅支援（グループホーム）

- 建物 4 棟のうち函館市追分町にある 2 棟を改築し一体化したため、共同生活住居としては 3 ヶ所となる。女性用居室のうち 1 部屋を男性用に転換する工事を行った。

#### (5) 健康管理

- ・健康診断の実施（4 月～6 月）： 全事業所（利用者および職員）
- ・インフルエンザ予防接種（職員の接種費用は法人が負担）
- ・嘱託医の訪問（6 月、9 月、12 月、3 月）： ふっと

#### (6) 安全対策

- ・避難訓練（各事業所で、春と秋に 1 回ずつ。）
- ・新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染対策

#### (7) 環境整備

- ・施設内外の美化と整理整頓： 全事業所

## 5 就労支援事業（授産事業）

かいせい東川（オリーブを含む）の売り上げについては、イベントや外部の販売が順次再開していることなどから、前年度と比較して増収となっている。これに伴い令和6年度は工賃の増額を計画している。ふっとは下請け作業が中心となっているが、中止になった作業があることなどから、売り上げは減少傾向にある。収支の差額については今後の授産設備購入や修繕に備えるため積み立てを行う予定である。

	かいせい東川	オリーブ	ふっと作業班
売上高	15,871,965 円 (前年度比+656,619 円)		814,411 円 (前年度比-98,553 円)
工賃支給基準	日給 500 円+賞与 1 ヶ月 (前年度と同じ)	日給 600 円+賞与 1 ヶ月 (前年度と同じ)	日給 300 円+賞与 2,000 円 (前年度と同じ)
工賃総額	4,748,500 円		664,100 円
収 支	394,400 円		101,484 円

## 6 委員会

- ・権利擁護委員会<兼>虐待防止委員会<兼>身体拘束適正化委員会  
4 回開催。虐待防止マニュアルの改訂、ヒヤリハットの検討、事例紹介、等。
- ・感染予防対策委員会<兼>防災対策委員会  
4 回開催。事業継続計画(BCP)の策定、マニュアルの見直し、等。

## 7 実習生・ボランティアの受け入れ

- 介護実習生 : 函館大妻高等学校より 4 名 (7 月)  
職場体験 : 北海道福祉人材センターより 1 名 (1 月)

## 8 職員研修

- ・施設内研修「管理職研修」(6 月) 8 名参加
- ・施設内研修「利用者さんのことを理解するのって難しい (6 月)」 26 名参加
- ・施設内研修「利用者と職員とかいせいを守る安全運転管理 (9 月)」 23 名参加
- ・施設内研修「利用者が虐待から身を守るために (1 月)」 22 名参加
- ・施設内研修「利用者のための虐待防止研修会の進め方について (3 月)」 24 名参加
- ・施設外研修「虐待事案から学ぶ虐待防止」(7 月)  
南北海道知的障がい福祉協会主催、函館市亀田交流プラザ、1 名参加
- ・施設外研修「相談支援専門員とサービス管理責任者合同研修」(8 月)  
障害者生活支援センターぱすてる主催、かなで〜る、1 名参加
- ・施設外研修「グループホーム世話人等交流会<一般救急講習>」(11 月)

- 函館地域障害者自立支援協議会主催、かなで〜る、1名参加
- ・施設外研修「虐待防止のための支援者の職業倫理」(11月)  
函館地域障害者自立支援協議会主催、かなで〜る、1名参加
- ・施設外研修「利用者研修会実施のための職員研修会(11月)」 1名参加  
北海道知的障がい福祉協会主催、札幌、1名参加
- ・施設外研修「北海道サービス管理責任者研修〜更新研修」(12月) リモート開催、1名参加
- ・施設外研修「施設・事業所における障がい者虐待の防止と虐待について〜清流の里の事案から考える〜」(12月)  
北海道オホーツク総合振興局主催、リモート開催、1名参加

## 9 補助金等

- ・医療/介護/障がい施設等物価高騰支援金(北海道)  
かいせい東川：200,000円、ふっと：300,000円 グループホーム：270,000円
- ・医療/介護/障がい施設等食材料費支援金(北海道)  
グループホーム：172,800円

## 10 主な行事

- ・全事業所合同の交流会(11月16日)、函館市総合福祉センター  
利用者82名、職員22名が参加
- ・事業所ごとに利用者自治会を実施